

シルクロードに悠久の 夢とロマンを馳せて



写真左から「中国・カラクリ湖」・「中国・麦積山石窟 菩薩像」・「シリア・パルミラの凱旋門」・「イラン・ペルセポリスの石像」 撮影：山田勝久さん

シルクロード（絹の道）は限りなく広大で、長安（西安）から大秦国（ローマ）まで、悠久二千年の歴史と文化の大動脈でした。砂漠の道、草原の道、そして海の道では、多様な文明が光彩を放ち、幾多の民族が興亡を繰り返しました。今これらの夢の跡から多くの遺物や古文書が出土し、往時の姿を窺い知ることができます。

古代シルクロードの民族の心を強くとらえたのは、仏の教えでした。経典や仏像の東漸（とうぜん）の時代やルートに思いを巡らす時、私たちは果てしない興味と好奇心を覚えます。

昨年度に続き、26カ国66回にわたってシルクロードを踏査した山田勝久さん（大阪教育大学名誉教授・神戸常盤大学客員教授）を講師にお招きし、わかりやすく西域の夢とロマン、歓喜と哀愁、そして光と影を解説して頂きます。

- 第1回 5月23日（木曜日）「世界遺産ペルセポリスとパルミラに立つ」
- 第2回 6月6日（木曜日）「海のシルクロードのルートと文化を探る」
- 第3回 6月20日（木曜日）「ブッタの出生地（ネパールのビニ・インドのピプラワラ）を踏査して想う」
- 第4回 7月4日（木曜日）「仏教伝来によってもたらされた日本文化の源泉」
- 第5回 7月18日（木曜日）「遣唐使、その光と影」



講師 山田 勝久さん（大阪教育大学名誉教授・神戸常盤大学客員教授）

会場 大阪府立中央図書館 2階多目的室（東大阪市荒本北1-2-1）

定員 各回80名（先着順、申込不要、受講無料）

時間 各回14時から15時30分（開場13時30分）

講演概要

第1回 5月23日(木曜日)「世界遺産ペルセポリスとパルミラに立つ」

マケドニアのアレクサンドロス大王によって破壊されたペルシアのペルセポリス、ローマ帝国によって廃墟と化したパルミラ。両都市とも、日本文化と深いつながりがあることを学習します。

第2回 6月6日(木曜日)「海のシルクロードのルートと文化を探る」

私はスリランカからミャンマーへ、そしてタイからカンボジア、インドネシアの仏教遺跡を調査しました。上座部仏教の流伝を中心に、南海路の文化の特色を探ります。

第3回 6月20日(木曜日)「ブッタの出生地(ネパールのピピネ・インドのピプラワラ)を踏査して思う」

ブッタの生誕地については、インド説とネパール説の2つの説があります。その学説について、現地調査をふまえ、私見を陳述します。

第4回 7月4日(木曜日)「仏教伝来によってもたらされた日本文化の源泉」

日本人の精神文化の支柱の一つとなっている仏教、その教えがどのように日本人の生活や文化に息づいているのか、仏教伝来1500年の変遷を学び、仏教哲理と深層心理をふまえ解説します。

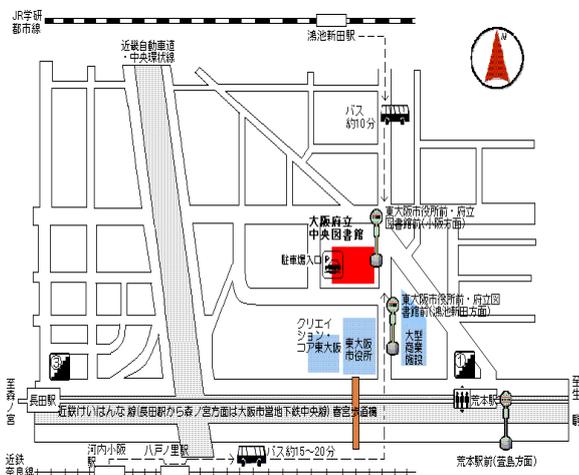
第5回 7月18日(木曜日)「遣唐使、その光と影」

大陸に夢とロマンを馳せて渡った若き青年たち、しかし、長安で病死した井真成(せい しんせい)、中国女性と結婚して帰国せずに唐の地で人生を終えた阿部仲麻呂…2300人余に及ぶ青年たちの主たる人物の数奇な人生を追います。

【講師紹介】

山田勝久(やまだかつひさ):1943年生まれ、北海道教育大学教授、大阪教育大学教授・学長補佐、大阪教育大学附属池田中学校長、私立大学副学長・理事を歴任。現在は大阪教育大学名誉教授、神戸常盤大学客員教授。日本人として初めて楼蘭王国の陵墓の壁画を、三次にわたって調査した。その他、パルミラやサマルカンドなどの古代遺跡を調査。著書に『唐代散文選』、『唐代文学の研究』、『唐詩の光彩』(笠間書院)、『パルミラの光彩』(雄山閣)など多数。

※講演会の参加に際して、障がい等の状況により、配慮が必要な方は事前にお知らせください。



【アクセス】

- 近鉄けいはんな線(地下鉄中央線乗り入れ)荒本駅下車(1番出口)北西へ約400M
- 長田駅下車(3番出口)北東へ約1000M
- 東大阪市役所北側

問い合わせ先

大阪府立中央図書館 生涯学習事業担当

〒577-0011

東大阪市荒本北1-2-1

TEL 06(6745)0170 FAX 06(6745)0262

【駐車場】

- 有料地下駐車場:120台/入庫後15分間は無料(平日は100円/60分、最大料金500円、土日祝祭日は150円/60分、最大料金600円)
- 詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/central/>